

馬産地ライター村本浩平の 2026 スタリオンシリーズ競走種牡馬名鑑

Vol. 3 | 8.6[木]▶9.23[水・祝]開催分



※7月10日時点の情報です。

8.6
[木]

ミッキーアイル賞

【サッポロクラシックカップ〔H3〕】

ミッキーアイル(牡15歳)は、2017年シーズンに種牡馬入りし、現在は優駿スタリオンステーションで供用されています。現役時はGINHKマイルC(芝1600m)、GIマイルCS(芝1600m)など、20戦8勝の成績を残しています。初年度産駒のメイケイエールはGⅢ小倉2歳Sを皮切りに、芝の短距離重賞で6勝をあげる活躍。2年目産駒となるナムラクレアも芝のスプリント重賞で5勝をあげるなど、父譲りのスピード能力の高さを証明していきます。一方、ダートでは牡馬の活躍が目立っており、その中からウィリアムバローズがGⅡ東海S、JpnⅡ日本テレビ盃を優勝しています。

8.19
[水]

ミスチヴィアスアレックス賞

【フルールカップ〔H3〕】

ミスチヴィアスアレックス(牡9歳)は、2022年シーズンから日本軽種馬協会静内種馬場で供用されています。現役時はGIカーターH(ダ7.0F)、GⅢガルフストリームパークスプリントS(ダ6.0F)など、15戦7勝の成績を残しています。父は北米を代表する名種牡馬イントゥミスターであり、後継種牡馬として日本初供用となります。2025年に初年度産駒がデビューすると、ダートを中心に産駒が続々と勝ち上がり、その年のファーストシーズンサイアーランキングの勝馬数と勝利数で首位となります。今年の^{ほうすう}鳳雛Sではイッテラッシャイがリストッド競走での初勝利をあげました。

8.20
[木]

ソールオリエンス賞

【ブリーダーズゴールドジュニアカップ〔H2〕】

新種牡馬

ソールオリエンス(牡6歳)は、2026年シーズンからブリーダーズ・スタリオン・ステーションで供用されています。現役時はGI皐月賞(芝2000m)、GⅢ京成杯(芝2000m)など、16戦3勝の成績を残しています。キタサンブラックの2年目産駒として誕生すると、3歳時には京成杯に続き、皐月賞もデビューからの3連勝で優勝を果たし、種牡馬となった父に初めてのクラシックタイトルを授けました。その年にはGI日本ダービーで2着、GI菊花賞でも3着に入着しています。昨年末に種牡馬入りが発表されると、シンジケートは早々に満口となる人気ぶりでした。

9.17
[木]

プログノース賞

【フローラルカップ〔H3〕】

新種牡馬

プログノース(牡8歳)は、2026年シーズンからブリーダーズ・スタリオン・ステーションで供用されています。現役時はGⅡ金鯱賞(芝2000m)を2回。GⅡ札幌記念(芝2000m)など19戦7勝の成績を残しています。国内で芝の中距離重賞で3勝をあげた実績もさることながら、香港GIクイーンエリザベス二世Cでは3年連続での2着。そのうち2度にわたり、世界の賞金王であるロマンチックウォリアーと差のないレースを繰り広げていました。また、豪GIコックスプレートでも2着となっています。産駒には自身があと一歩のところで届かなかった、海外GI制覇も期待されます。

9.22
[火・祝]

マッドフール賞

【ウポポイオータムスプリント〔H2〕】

新種牡馬

マッドフール(牡7歳)は、2026年シーズンから優駿スタリオンステーションで供用されています。現役時はGI高松宮記念(芝1200m)など17戦6勝の成績を残しています。デビューは3歳の1月までずれ込んだものの、3戦目に初勝利をあげると、その後は芝スプリント戦で連勝を重ねてオープン入りを果たします。4歳時には初のGI挑戦となったスプリンターズSで2着となり、5歳時の高松宮記念でGI初制覇。この時の馬体重540kgは、同レースの優勝馬では最高の馬体重ともなりました。スピード能力の高さに加えて、この雄大な馬格も産駒に遺伝されそうです。

9.23
[水・祝]

ニューイヤーズデイ賞

【瑞穂賞〔H2〕】

ニューイヤーズデイ(牡15歳)は、2020年シーズンから日本で種牡馬入りし、現在は優駿スタリオンステーションで供用されています。現役時はGIBCジュヴェナイル(ダ8.5F)など、3戦2勝の成績を残しています。先に種牡馬入りしたアメリカでは、GI4勝をあげたマキシマムセキュリティを輩出し、一躍注目を集めます。日本産馬ではミリアッドラヴがJpnⅢエーデルワイス賞に続き、JpnⅠ全日本2歳優駿を優勝。昨年はエートラックス・プライドフレールがダートグレード競走を制する活躍もあって、その年のダートサイアーランキングでは16位となっています。

今シーズンは特別競走4レースも
「スタリオンシリーズ競走」として開催!

- 門別11回ジオグリフ賞 新種牡馬
- 門別14回マスタリー賞

「スタリオンシリーズ競走」は、一般社団法人JBC協会(ジャパンブリーダーズカップ協会)が産地の支援を得て、優勝馬の馬主や生産牧場に種牡馬の翌年種付権利を副賞として贈呈する競走です。

※生産牧場が海外の場合は付与対象外となります。

